



潮流



2018年 1月号

No.259

大津島データ 189世帯
 人口 267人 男110人 女157人
 高齢化率 77.9%
 (平成29年11月30日現在)

題字：末兼南子さん イラスト：あゆこさん

第28回大津島ポテトマラソン

 12/3(日)に、晴天の下開催され、約600人の方が、島に訪れました。

行事報告

砲台山整備

12/17(日)、砲台山の登山口から山頂までの整備を24人でおこないました。



特集

茶室 石柱庵

2015年12月、近江にあるガマの群生地の一画に農具小屋を改装した茶室が創られました。

現在ガマが群生している場所は、300年前は海であったとされています。人はその地の海水を潮の満ち引きを利用して港灣へ押し出し、その荒れた土地を開墾して稲作田としました。稲作が衰退し、今ではガマや葦が群生していますが、人の営みの記憶と自然の力が混ざりあっているかのような、大津島にしかない大切な風景となっています。

その風景の中に佇む石柱庵は、島に残る人々の記憶や暮らしを丹念に吟味し、眺めるだけの対象であった風景の中に、人々の交流の場を創造するべく創られました。



島の暮らしを今に伝え、風景と共に記憶をつなぐ場となる

文川松田翔剛(刈尾・一問)



た。農具小屋当時の石の柱や屋根の小屋組も使われており、島の記憶を見て感じる事ができます。

これからお茶会だけに限らず様々な交流が石柱庵で気軽に行われるようになり、島民の方だけではなく島外の人とも交流が増え、やがて島や風景の記憶をつなぐ場となってゆくことを願っています。

イベント①
 茶談会ちやだんかい
 3月予定(不定期開催)
 定員5名
 会費1000円
 お茶菓子、煎茶等

イベント②
 さくら茶会
 徳山ロータリークラブ主催
 3月下旬開催予定
 参加無料
 徳山工業高等専門学校
 茶道部によるお点前
 【申込み・問い合わせ】
 松田(刈尾)まで
 080-4417-0823



謹賀新年

あけましておめでとございます
 皆様には健康やかに新年をお迎えます
 お喜び申し上げます

昨年4月から始まった道の駅「ソレーネ周南」による移動販売は、毎回10万円を超える売り上げがあり、大津島の皆様に定着したようです。



左/安達会長 右/佐伯事務局長

移動販売車が来る度に、たくさんの方が楽しんでそこにカゴいっぱい買い物をすると、島の多くの人は買い物に不由ずるとも

に娛樂も求めているのだなと思えました。

移動販売車に限らず、島での生活を維持するためには皆様のご協力が必要不可欠です。

本年も、いつまでも島で楽しく暮らしていけるように取り組みを進めてまいりたいと思っております。引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって幸多い年であります様に祈念し、新年のご挨拶いたします。

平成三十年元旦

大津島地区コミュニティ推進協議会

会長 安達 壽富
 事務局長 佐伯 良光



松田翔剛

羊の羽は丘にあり

vol 03

島の暮らしを代々見守り、古くから親しまれた果実、すだいたい。実を落とさず二代、三代と代々実ることから子孫繁栄を意味し、縁起がよいとされる。

そんな島のすだいたいの果汁を絞ったビールが平成三十年二月に完成する。これを機に島のすだいたいが今よりも多くの人に認知され、島の食文化や風景、受け継がれてきた思いが人々へ繋がって行く事を心から願う。

ひろしのつづき

最終回

文川屋野廣志

もったいない。
又もや解体される家々。思い出深いであろう家がたわいなく姿を消して行く。人間の終末と重なり淋しい。せめて軒先が下り、壁が落ち、棟が傾くまで置いて欲しい。

平成になり5ヶ年毎に100名の人口減の大津島。後、15年??此の様な事はつづやく事も思ふ事も禁句だ。

もったいないが大津島を解体しよう。それぞれが求められ所を求めてと思へども、高齢化率78%の受入先は?そうだ世界の難民を受け入れよう。静かで平和な大津島へ。待遇は平成22年の島起こし隊並とする。人数は各集落に若い夫婦1組として世帯とする。移住民は日本国憲法を厳守する事。九条は勿論の事、14条の平等も。20条の宗教も5ヶ年後には最低でも25

名の幼児だ。26条教育再開。学校も勤勉な移住者に助けられ、島民の老後は安泰だ。国際孤島大津島は世界に知れ渡る。海の郷も大盛況・・・
認知症の進行する私の屋間のまどろみの夢か・・・
年始の八幡様と伊勢神宮のお札を頂く。大麻(「おおぬさ」と読む。)と記して居る麻薬だ。此の足の痛みを大麻で治そう。島に大麻草とケシの花を植え、死期迫る者に阿片やモルヒネで毎日苦痛の無い多幸感溢れる楽しい刈尾の地で安らかな軟着地を期したい・・・

ああ此れも幻覚だ。
妄想狂と痴呆症の進む私に。
永い間の潮流への汚濁を、自覚症状が少し残る今、皆様にお詫び申し上げ終わりとさせて頂きます。
ひろし、つづきやす
心より益々の健勝と輝く年、平成30年の朝に。
※原文のまま掲載しています。
薬物の使用は法律等で禁止されています。文中は薬物の使用を容認するものではなく、著者の表現方法のひとつです。

この前テレビで、池の水を全部抜くちゆう番組をみて、その時使っていた、揚水ポンプをみて、どこかでみたようなと思つてね、つらつら考えるに、子供の頃だと思いだった。麦の脱穀機のヤンマーじゃったんよ。

知っつぷるかね



「ヤンマーのゆい卵」

文川松本千恵子

けたたましい音と共にヤンマーが掛かると、後はもう戦場。麦を寄せる人、脱穀して下の段に投げ落とす人、機械の横から出る麦を袋に入れる人。それこそ寸暇も無あほど、動く動く。頃合いを見て、父親が「服しようやあ」と声を掛けてようやく休憩。その時父親が私に、ヤカンに水を入れて持って来させ、ついで今朝採ったばかりの卵を持って来させる。ヤンマーの横には、水を入れるタンクが、蓋もないまま付いちよって、それにヤカンの水を入れ、卵を入れる。休憩後、しばらく動かすと、その水はちようどええ具合に熱くなって、ゆで卵が出来上がる。沢山はないから、私達子供のおやつになる訳

さて、そのヤンマー、ハンドルを回して起動するんじゃないが、一回位じゃあなかなか掛からん。何度目かで

これからよろしくお願ひします



10月から大津島支所で勤務することになりました。中村明美です。
大津島は、昔、海水浴場に何度か来て以て来た。まだ、わからないことが多いですが、頑張りますので、よろしくお願ひします。

で、他にも仲間の人が朝焼いた水餅を二つに折って中に黒砂糖を挟んで、紙やボロで幾重にも包んだのを、※ほとんから出してくだり、こおり餅の焼いたのをくれたり、子供に気を使つて貰った。
ヤンマーのやかましい音と共に、酸っぱい水餅の味や、下の段の麦ワラの山に飛び込んで遊んだ日を、ふと思ひ出したある日の出来事。
※ほとんから出るところの方言

徳山傳見聞録

7. 浮かぶ太陽や沈む太陽は大きくて赤い、これ本当でしょうか?

文川回天記念館 三崎英和

今年もあと数日で新年を迎えますが、元旦の朝、皆さんはどうお過ごしですか。市内の地域のシンボルとなっている山々の頂上では、地元主催による「光の集い」が毎年、開催され、そこでは新しい年に願ひを託す人の姿が見受けられます。さてその時の太陽、つまり日の出(日の入りも含め)の時の太陽は大きくて赤く見えますが、どうしてかご存知ですか。
まず大きく見えるのは、どうやら私たちの目の錯覚のようです。その理由は、日中に見える太陽の周りに、雲以外何もありませんが、日の出、日の入り時に見える太陽の近くには地平線や水平線が見えます。この地平線や水平線が存在することで、私たちの脳は大きくて赤い太陽が近づいてくると感じ、実際よりも大きく赤く見えているのです。

